



## 2学期のスタートとコロナ対応について

長いようで、終わってみれば短い夏休みがもうわずかになりました。夏休み中に心に残る思い出はできたでしょうか。夏休みの課題は、もう終わったでしょうか。昨日、今日と子供たちが夏休みの課題を学校に届けに来ているのを見かけました。図画やポスター、科学作品等、力作も多々見られました。たいへん、よく頑張って作ったなど感心します。

さて、新型コロナウイルス感染症の陽性者が高止まりの中、2学期のスタートを迎えます。夏休みには、いろんな大会や行事、催し等が各地で行われました。そのどれにも「十分な感染症対策をしたうえで」という文言がありました。何をもち「十分な」と言えるのかは、学校でも参考にしたいと思うところでありました。学校では、これまでマスク着用・手指の消毒・換気等の感染症対策をとってきました。第6波までは何となく感染拡大を抑えられる気がしましたが、7月中旬頃からの第7波では明らかに感染力が違って、一旦流行すると、抑えようがない気さえしました。



学校では、2学期もこれまで通り、マスク着用・手指の消毒・換気・給食の黙食等の基本的な感染症対策に努めますが、やはり不安はあります。十分な感染症対策に努めるといっても、これまで以上にできることはありません。また、熱中症対策でマスクを外すことも多々あります。子供たちは「くつつくな!」と言っても、くつついて遊びます。それが正常な子供だと思えます。そんな中、**一番の感染症対策は、ウイルスを学校の中に持ち込まないこと**だと考えます。1学期にもお伝えしましたが、ほんの少しでも風邪症状等の心配があるときはお子さんを自宅待機させてください。教職員についても同様にします。

2学期は高学年の宿泊学習や低中学年の校外学習に加え、学習発表会、持久走大会等、楽しい行事が続きます。何とか子供たちの学びが止まらないように、そして、思い出に残る2学期になるようにしたいと思います。

## 子どもの権利条例シンポジウムがありました

国連総会で決められた『子どもの権利条約』では、「権利」は世界中の子供がもつ大切なもので、①生きる権利（いのちが大切に守られること）、②育つ権利（自分の力を伸ばし、自分らしく生きること）、③守られる権利（心と体が傷つかないように、悪いことから守られること）、④参加する権利（自分の気持ちを伝えたり、仲間をつくったりすること）の4つがあることを定めています。ご承知のことと思いますが、この条約

の南砺市版である『南砺市子どもの権利条例』が今年度中に制定されます。それに先立ち、8月6日（土）にじょうはな座でシンポジウムが開かれました。これまでも条例の素案が示され、意見募集が行われました。その意見に対する考えもシンポジウムの話題に上がりました。以下に、印象に残ったことをお示しします。



○この条例を作って、南砺市は何を目指しているのか？

・子供自身が「ここで育ちたい」と思える街。家族だけでなく、地域で子育てができる街。自分の幸せだけでなく、他の人の幸せを願える人づくり。

・子供が幸せであるためには、大人も幸せでなければならない。

※親が真剣になればなるほど（親が子供を愛するがゆえにやってきたことが）、子供に受け入れられず、子供は親に愛されていないと感じてしまう悲劇がある。

○子供の権利をこれ以上保証すると、わがままにならないか？

・まずは、「やりたいことができる」と子供に伝えたい。そのうえで、権利は友達や家族等、他の人にもある。「他の人の権利も守ってあげないといけないね」と教える。

○条例を作ることが目的でなく、できた後、どうするかの方が大事になる。

・条例ができたこと、どんな内容かを市民に知ってもらわなければいけない。

学校としてできることは……。

①条例ができたことやその内容を子供たちや保護者に知らせます

学校としても、この条例を基に、いじめや不登校等、問題行動で困っている子の不安や悩みを解消していきたいと考えています。つきましては、学級活動の時間やお便り等を通して、『南砺市子どもの権利条例』についてお知らせします。（11月の学習参観日には、父母と教師の会の皆様が子供向けのワークショップを準備されています）

②授業や学校行事が受け身ではなく、子供の主体性で進むように努めます

「子供の主体性」というのは、昔から言われていることではありますが、これを機会に再認識して努めます。日々の授業、学習発表会や宿泊学習等の行事が子供の意見を取り入れたものにしていきたいと思えます。そして、この福野小学校で学べたことがよかったと思える子供になってほしいと願います。

③子供の悩みや困り感を早期に把握し、対応します

これまで同様、学期に一度の「ハートの日アンケート」「いじめ早期発見・早期対応のためのアンケート」や教育相談を活用して、子供の心に寄り添った対応に努めます。

## 学級担任の変更について

2学期を迎え、学級担任の変更がありますので、お知らせします。育児休業を取っていた林優衣教諭が2年3組へ入ります。また、内地留学に出ていた松居夕香里教諭が9月1日より5年1組へ戻ります。以上、よろしくお祈りします。

（校長 曲 師 政 隆）